真脇遺跡

縄文館発掘調査

木柱根32本は昨年度から今年度にかけての発掘で確認された。環状木柱列の一部と考えられるアテ材7本の断面は、いずれも丸太を半分に割った半円形だった。奈良教育大の金原正明教授（環境考古学）の分析でアテ材とまでに確認された環状

分かった。

発掘に当たった同館の高田秀樹館長によると、アテ材7本の位置関係から、まだ見つかっていない3本と合わせて計10本で環状木柱列を形作っていた可能性が大きい。来年度の調査で特定する。

同館によると、これ

発掘の成果を説明する高田館長＝能登町の真脇遺跡

アラスカから ハマシギ飛来

アラスカから飛来したことが判明したハマシギ＝10月19日、志賀町安部屋（長門さん撮影）

山階鳥類研究所が調査

日本鳥類保護連盟専門委員の長門秋男さん(63)＝志賀町＝が10月に町内で撮影した渡り鳥「ハマシギ」が、米国アラスカが北部のバーローから飛来した個体であることが、山階鳥類研究所（千葉県）の調査で17日までに分かった。脚に付けた標識が決め手となった。同連盟県支部によると、標識が付いたハマシギの撮影は比較的珍しいという。

ハマシギは体長20センチ前後と小さく、夏はアラスカやシベリアなどの北極海沿岸で過ごし、冬には日本やヨーロッパなどに渡って海岸や河口などで群れて過ごす。長門さんは、志賀町安部屋の海岸で、すばしっこく動くハマシギの撮影に成功した。

日本のハマシギの大半はアラスカから飛来するとされるが、飛来ルートは未解明さまだ。同連盟県支部は「ハマシギの標識の報告が増えれば、研究に役立つ」としている。

志賀・長門さん撮影

ニュース石川

動植物など描いた凧点

金沢で絵手紙展

アートサークル「凧の川」絵手紙教室による作品展「心の灯（ともしび）絵手紙展」（北國新聞社後援）が1日から金沢市の泰門一丁目のひろた美術画廊で始まり、生徒11人が約350点を出展した。

動植物や季節の風物詩を描いた絵手紙のほか、全員で合作した6メートル幅の絵巻紙、あんどんなど多彩な作品が並び、来場者を楽しませた。講師の川畑裕子さんも出展した。22日まで。

紙幣について説明を受ける学生＝日銀金沢支店

積み荷の落下防止呼び掛け

能登有料道路

県道路公社の能登有料道路落下物防止キャンペーンは17日始まり、5カ所の料金所で通行車両の運転者にチラシを配り、積み荷の固定や過積載などに注意を呼び掛けた。

4年前から行っている。内灘料金所での活動には同公社職員や県警交通機動隊、県健康増進課などの32人が参加し、約700人にチラシを配布した。

昨年1年間に、積み荷の材木などの落下が約900件あった。15日まで行われる。

日銀の役割を理解

金沢学院大学・北國銀寄付講座で

金沢学院大の北國銀行寄付講座「経営情報学特講Ⅱ」は17日、日銀金沢支店で開かれ、学生が日銀の役割に理解を深めた。

北原道支店長は日銀の仕事を物価と金融システムの安定だと説明。「やさしく言えば、お金を安心してつかえる環境を整えること。そうした考え方に情熱と誇りを持って取り組める人材を求めている」と呼び掛けた。

学生は職員から紙幣の偽造防止技術などの説明を受け、窓口業務も見学した。

エステGPへ切磋琢磨

金沢の勉強会に160人

第2回エステティックグランプリに向けた中部・北陸地区の勉強会＝写真＝は17日、金沢市のKKRホテル金沢で開かれ、北陸三県を中心に全国のエステティシャン約160人が業界の底上げのため真剣な表情で講義を聴いた。

勉強会の開催は北陸で初めて。同グランプリの志田伊織理事長のあいさつに続き、坂元明憲副理事長がエステ経営を解説。グランプリ決勝に進んだクールエステティック（野々市市）の宮下奈々美マネジャーが「サロンの顧客獲得」、来年3月に技術などの決勝大会が開催される。

練習や進捗を見学するモニター＝輪島市門前町

強調した。同グランプリはサロンの切磋琢磨を目的に開催。9～11月に各地区の予選が行われ、12月に全国7地区サロンが決勝進出、来年3月に技術などの決勝大会が開催される。

イベントガイド

パノラマキトキトキ 富山に来られ

【㈳富山県観光連盟】

☎076(441)7722　FAX076(431)4193

◇断ての祭り（立山町）

立山芦峰神社の「断ての祭り」は、ゴンバーがそれぞれを実演し、打ちたてをかけそばや搗りそばを提供する。旬の果物や野菜を並べた朝市もあわれる。

▽期日　20日▽場所　立山芦峰ふれあい館▽問い合わせ＝同館☎076（462）8505

◇雪恋まつり

シューマー・カレッジ」は17日、金沢市の県女性センターで開かれ、48人が食品の放射能汚染について家庭で対策を学んだ。

食品の放射能汚染

家庭での対策学ぶ

県消費生活支援センターの「いしかわコンシューマー・カレッジ」は17日、金沢市の県女性センターで開かれ、48人が食品の放射能汚染について家庭でできる対策を学んだ。